

平成19年（2007年）紀北町3月定例会会議録

第 3 号

招集年月日 平成19年3月7日（水）

招集の場所 紀北町本庁舎議会議場

開 会 平成19年3月9日（金）

応 招 議 員

2番	中村健之	3番	近澤チヅル
4番	家崎仁行	5番	川端龍雄
6番	北村博司	7番	玉津 充
8番	尾上壽一	9番	平野倅規
10番	岩見雅夫	11番	入江康仁
12番	平野隆久	13番	島本昌幸
14番	中本 衛	15番	中津畑正量
16番	東 澄代	17番	松永征也
18番	垣内唯好	19番	奥村武生
20番	東 清剛	21番	谷 節夫
22番	世古勝彦		

不応招議員

1番 東 篤布

地方自治法第 121条の規定により説明の為議会に出席した者の職氏名

町 長	奥山始郎	助 役	北村文明
収 入 役	川端清司	総 務 課 長	谷口房夫
財 政 課 長	太田哲生	危機管理課長	中場 幹
企 画 課 長	川合誠一	税 務 課 長	長野季樹
住 民 課 長	宮澤清春	福祉保健課長	塩崎剛尚
環境管理課長	山本善久	産業振興課長	広瀬栄紀
建 設 課 長	中原幹夫	水 道 課 長	村島成幸
出 納 室 長	家崎英寿	紀伊長島総合支所長	石倉宣夫
海山総合支所長	上村晴彦	教育委員長	喜多 健
教 育 課 長	奥野昇眞		

職務の為出席者

事 務 局 長	中野直文	書 記	川口節生
書 記	牧野尚記	総務課長補佐	工門利弘

提出議案 別紙のとおり

会議録署名議員

20番 東 清剛

21番 谷 節夫

議事の顛末 左記のとおりを記載する。

議長

皆さん、こんにちは。

昨日に引き続き、大変ご苦勞様でございます。

ただいまから開会をいたします。

本日は会議規則第9条第2項の規定により、開議時刻を1時53分からとさせていただきます。

ただいまの出席議員は21名であります。定足数に達しております。

なお、1番 東篤布君より、所用のため欠席との連絡を受けておりますので、ご報告をいたします。

なお、本日会議時間が少し遅れましたことも、あわせてお詫びを申し上げます。

議長

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、配布いたしました議事日程表のとおりであります。

朗読は省略させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長

異議なしと認め、省略することにいたします。

本日の議事運営につきましては、昨日の会議か延会となったことにより、残りの6議案についての質疑を行い、その後、議案の委員会付託について諮ることになります。

よろしく願いをいたします。

日程第1

議長

それでは議事に入ります。

日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第 119条の規定に基づき、本日の会議録署名議員に、

20番 東 清剛君

21番 谷 節夫君

のご両名を指名いたします。

日程第 2

議長

これより議案の質疑に入ります。

日程第 2 議案第45号 平成19年度紀北町一般会計予算を議題といたします。

103ページの土木費から、最後のページまでの質疑を行います。

質疑に入る前に、先日の入江康仁君の質疑に対する答弁について、奥山町長並びに担当課長からお詫びをしたとの旨の申し出がありましたので、許可することといたします。

奥山町長。

奥山始郎町長

昨日の本会議における平成19年度一般会計予算審議のなかで、デカップリング総合支援事業に対する質疑に対し、適切な対応ができず、延会となったことに対しまして、議長はじめ、議員の皆様にご迷惑をおかけしましたことに対し、まずもってお詫び申し上げます。

今後、このようなことのないようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。以上です。

議長

それでは前日の入江康仁君の質疑に対する再度答弁を求めます。

中原建設課長。

中原幹夫建設課長

昨日の本会議におきまして、デカップリング総合支援事業の説明において、私が資料はないと申しあげましたのは、それは県への本申請書作成中でしたので、ないと申し上

げましたが、町の予算計上の資料はございましたので、大変誤解を招いたことに対しまして、お詫びを申し上げます。大変、申し訳ございませんでした。

議長

それでは入江議員、昨日は途中で延会といたしまして、誠に申し訳ございませんでした。

それでは入江議員の質疑をどうぞ。

11番 入江康仁君。

11番 入江康仁議員

今回ですね、このデカップリング市町総合支援事業計画のことに関してはですね、私もいろいろとまだ言いたいこともあります。またその前ですね町長、2、3日前でしたか、新聞にもやはりこの安倍首相、安倍総理大臣がですね、補助金を出している企業から献金を受けたというような指摘もある。町長はそのようなですね、ことは何もないと本当にあなた潔癖な人です。だからですね、こういう疑惑を持たれないようなやはり補助金に対してはですね、皆にわかりやすく、また町民の皆さんにも2,000万円というお金は本当に大事なもんなんです。

だから今回の、去年の18年度もそうですけども、19年度のこの予算も本当に執行部の緊縮予算、財政が苦しいというなかでですね、紀北町の町民も協力しておるんです。不満もあっても言わないで我慢しておる。だから予算というのは最小限の数値によって最大の効果をあげるようなやはり予算をしてくれなければ、私ども困ります。

そして、やはり弱者を切り捨てるような、やはり予算は是非止めていただきたい。だから補助金もいいです。地元の紀北町の町民が裕福になって、良くやってくれているよと、今の行政は。そういうなかで補助金も使って企業誘致、また企業の元気づけもして、町長は言われておるようにですよ、集客人数も増やし、それもいろいろな経済効果があって、いろいろな波及効果もあるでしょう。そのためには、やはり紀北町の町民が、やはり裕福にならなあかん。

だから1点だけ、私はもうこの補助金のことに関してはもう言いません。ただ、やすらぎ苑のバスの補助金200万円を切ったことに対しても、町民からもいろんな私どもお叱りを受けておる。だからこれはですね、本当に次の補正予算でもいいですから、復活するようにしていただきたいと思います。そのなかで、もうこのデカップリング補助金のごことは、議員その個々の問題であります。執行部の計画に、この予算の執行に関しては個々の議員のことになると思いますんで、そこのところは言いませんけども、町長、今言うたようにですね、

弱者を救済する、そういうような予算ができるように、これから心がけていってほしいと思いますが、どうでしょうか、町長。

議長

奥山町長。

奥山始郎町長

誠に昨日のことは申し訳ないと思っております。

議員は、大変この総合的にこの事業についてですね、高度なご判断をいただいたことについては心から感謝したいと思います。今、弱者救済という行政の非常に重要な要因について、ご指摘を受けました。今後の行政の責任者としてそれは忘れてはならないことでありまして、私も常に忘れないように努力しております。

今後ともそのことに配慮しながら、頑張っまいると思います。

議長

11番 入江康仁君。

11番 入江康仁議員

もう今の町長の答弁聞きましてですね、私ももうこの1点だけ。

ただ、いろんな事業、また補助金等の事業に関してでも、いろんな事業に関してでもですね、やはり実質の手続きの手順だけはきちっと皆、これ町長だけでなく、各課課長もやはり町長を支えるようにしてですね、行政の執行部のほうはきちんとやっているんだと、町民に対して私どもはきちんと法のなかでやっていますということを、自負を持ってできるようにやっていただきたいと思います。そこのとこまた町長、三役、また各課課長、本当にこれからもこの紀北町の町政をですね、担ってやっていただきたいと思います。

これで私の質問を終わります。

議長

ほかに土木費から、最後までページで質疑ございませんか。

21番 谷節夫君。

21番 谷節夫議員

ただいまのデカップリングの関連した質問なんですけど、実はただいま建設課からですね、資料いただきました。その中で私は特にですね町長にお聞きしたいんですけど、この事業等を季の座がですね、その1億2,700万円かかるなかで6,000万円持つ、それでそのあとのですね6,000万円については県が4,000万円と、当町が2,000万円出すと、私は常に議員がで

すね、やっぱり助成や補助を出す団体に対して、あるいはその事業に対してですね処置をしたときに、やはり費用効果がいかなものかという議論がですね、たくさん出てくるわけなんです。

それですね黒浜の件もそうなんですけど、最終的になればまた黒浜のことも出てくると思うんですけどシーカヤックの基地になりつつあるということも聞いてですね、良かったな私は賛成討論したこともあつたですね、やっぱりこれは広げていかなあかんとは思っているわけなんです。

それですね、このデカップリングのその 2,000万円に対して、私は自分的に調査したんですけども、実は入り込み客がですね、どうなっているかという資料を私は求めたんですね。そしたらその14年の6月から始めて14年度は1万 5,000人、日帰りと宿泊客のトータルを言いますけど、14年度で1万 5,000人、それから15年度で2万 5,000人、それから16年度で2万 8,000人、17年度で2万 6,000人、それから18年度でなぜか2万 3,000人と、約 2,500人ぐらい低下しているんですね。そうすると私は、やっぱりこの 2,000万円の費用をかけて助成をしてですね、この2万 3,000人の紀北町への入り込み客がですね、例えば1万人増えて、3万 3,000人にこれなると、私はなってもらいたいんですね。

それで紀北町は、冬の観光というのに弱いと思うんです。冬場の観光。ですから私はやっぱり町長これは胸を張ってですね、ここにおられる議員も冬のウィンタースポーツとして、あそこプールを凍らせてですね、それでスケート場にしようやないかと、これは私長島の議員のときに、そんなことも一遍試みたらどうやというぐらい、あそこのやっぱり孫太郎をやっぱり完全に紀北町のですね、1つの観光の拠点にするべきだということを、やっぱり僕は以前議員していたときに、それもやっぱり試みたわけなんです。

ですから、私はいろいろとご意見がありましようが、私は個人的にはですね、この紀北町は古里にも温泉があり、それからまた孫太郎、季の座に温泉があり、それから有久寺温泉があり、温泉のまちの紀北町、そしてやっぱり冬の集客の場としてね、そうしたやっぱり温泉も掘るべきだと、私はこのように考えておるわけです。町長、そのへんどうなんですか、そのへんの入り込み客とか、そんなんはやっぱりお話したことないんですか、一遍そのへんだけいいですから、ご回答お願いします。

議長

奥山町長。

奥山始郎町長

ただいま議員のご指摘によりましてですね、なぜか18年の入り込み客が減少になっておることも指摘されたと思います。またもう1つは、夏型の観光地ですよ。この東紀州は大体あったかくてですね、冬は非常に美味しいものはいっぱいありますけども、お客さんが少ないというのが特徴です。その意味でスケートの提案もありましてですね、これも国、県の主立った事業のなかでこれを展開していただくことになってます。町の負担が少ないんですけども、それも県へ要望をしてですね、今後この地域ですね集客増に向けて努力させていただきたいと考えます。

議長

ほかにごいませんか。

10番 岩見雅夫君。

10番 岩見雅夫議員

災害対策の問題なんですけれども 117ページですね。説明のところですね、地震津波災害避難路等の整備事業というのが出ております。内容説明でですね白浦については90万円を、中身は避難誘導標識というふうに説明がし直されたというのですか、説明がされたように思うんですが、これは避難路の整備ということで、いわゆる避難道路のですね整備かというふうに考えておったんですが、誘導標識というんですね、新たにこれシールの張り替えとか、その誘導、何か標識の中身はどういうものなんですか。

議長

中場危機管理課長

中場幹危機管理課長

お答えをさせていただきます。

昨日も訂正させていただきました、大変申し訳ございませんでした。もう一度上から詳しく説明をさせていただきます。

まず、全体の事業費が 2,180万円でございます、そのうち 1,650万円につきましては、中ノ島の津波避難階段でございます。

続きまして90万円につきましては、白浦の避難路の整備でございます。

それと 390万円が避難所への誘導標識30カ所でございます。

そのほか階段の解消、手すり等小さいものが50万円と、合わせて 2,180万円でございます。

それで誘導標識なんですけども、例えばの話ですけども道の入口から避難所に向かって矢印を付けた誘導標識を考えてございます。

以上でございます。

議長

10番 岩見雅夫君。

10番 岩見雅夫議員

ちょっとしっかりつかめてなかったんですが、今の説明ではですね、90万円の白浦の分というのは、どういう中身になるんでしょうか。標識は 350万円のほうで90万円の点についてはですね、誘導標識ではないんですね。そのへんもう少し具体的に。

議長

中場危機管理課長。

中場幹危機管理課長

議員さんのおっしゃるとおりでございます、90万円は白浦の避難路の整備でございます。390万円が30カ所の誘導標識でございます、白浦地区の整備につきましては、延長が13mほどの階段を登りやすくして手すりを付けるという工事でございます。

以上でございます。

議長

ほかにございませんか。

15番 中津畑正量君。

15番 中津畑正量議員

2点お聞きします。111ページの高速道路の関連費で、この京戸線真谷線、この2つが説明ありました。この工事請負費の総額が出ておりますが、お金の振り分けというのはどうなっているのか、またこれですべて取り付け道路まで完了できるのかどうか、その点でお聞きします。

もう1つは、129ページの上のほうに演劇演奏会、講演会等委託料 270万円が計上されております。これについては具体的にわかりましたらお願いをしたいと思います、中身を。

議長

中原建設課長。

中原幹夫建設課長

高速道路の整備関連受託事業の工事費1億 8,500万円の、まず内訳でございますが、京戸線につきましては 5,500万円、真谷線につきましては 8,500万円、河合向井線につきましては 4,500万円でございます、取り付け道路が完了するのかというところでございますが、京

戸線につきましては、現在 550mのかかる工事費でございまして、ちょうどまだ高速道路までが取り付きはできないもんですから、あとの部分については京戸線につきましては作業道路をつくって高速道路に入ると、真谷線につきましては延長が 600mでございまして、ほぼ高速道路が通る位置まで付くということでございまして、河合向井線につきましては 1,240mの林道の舗装でございまして、まだちょうど中ほどでございまして。河合向井線につきましては、現在のところ舗装の上里寄りにつきましては、まだ河川内を通行するという計画で今進んでおります。以上です。

議長

奥野教育課長。

奥野昇眞育課長

129ページの演劇演奏会、講演会等委託料 270万円の内容でございしますが、ただいまのところまだ内容的には具体的にはどういう演劇をやるかとか、どういう演奏会をするかとかいうふうなことは決まっておられません。できるだけ住民に親しまれると申しますか、ニーズの高いもの、効果のあるものを選んでいきたいと思っております。

以上です。

議長

中津畑正量君。

15番 中津畑正量議員

まず、高速道路の件ですが、よくわかりました。ただ京戸線の現在 550mぐらいの点でこの工事費予算化しているということですが、聞くところによると、やっぱり高速道路非常に急いでいるようですね。この工事用道路、搬入搬出道路と取り付け道路ということで急いでいるようなこともありまして、この高速の工事にどうしても間に合わず方向でないと、国交省のほうもなかなか仮設道路といえども、町がきちっとこの準備をしないと間に合わないということになりかねますので、是非この面については急いでいただきたい。

真谷線については完了ということでわかりました。いただきたいというよりも、今後の言うたら京戸線については方向といいますか、そこを聞かせていただきたい。残った分ですね。非常に難しい状況もあるというようなことも伺ってはおりますが。

それと演劇、演奏会の 270万円の件ですが、これは昨年度の実績等も踏まえてこういう予算化になったんでしょうかね。まだ決まってない、どういう振り分けになるかわかってないということですが、昨年実績で計上されているんですね。

議長

奥野教育課長。

奥野昇眞教育課長

例年、多いところは 800万円ほどを計上していた時期もございましたが、年々財政状況も違ってきましたし、社会情勢も違ってきておりまして、去年は 300万円でしたか、少しずつ下がってきております。そのなかで効果的な収入も見込めるようなものということで、最近では映画が多くなってきております。

このように大変難しいですが、ニーズがあって良いものといふとなかなか入ってもらいにくいという、高くついたりそんなことがございまして、良いものを慎重に選んでいきたいと思っております。

議長

中原建設課長。

中原幹夫建設課長

京戸線の関係でございますが、急いでいるということで、高速道路も今年度18年度はですね、用地を先に先行させていただきまして、買わせていただきまして、来年度の予算は全額受託ということで予算を大きく付けていただきました。

しかし、議員さんおっしゃるように、ちょうど 500mですと橋を架ける位置ですかね、ちょうどぐらいまでですねつくる予定でございまして、そのあと地区のほうからですね、そのまま延長をしてほしいという要望もございます。

それから国交省のほうでは、その仮橋を架けてですね、山根を走って作業道をつくるか、川に沿って作業道をつくるか、今、検討中ございまして、作業道については早くまた予算を受託をいただいて、早く実施したいというふうに考えております。

15番 中津畑正量議員

了解です。

議長

ほかにございませんか。

9番 平野倅規君。

9番 平野倅規議員

9番 平野、114ページのね、昨日入江議員が一応質疑した消防出初式の執行費のことなんですけども 153万 9,000円、中身の説明はあったけど、その中身の質疑はしてないな。こ

のなかで紀伊長島区の場合の消防出初式のときは餅まきはなかったですな。聞くところによると一昨年から消防出初式に餅をまいてやっておると、ようなことが起こっておるらしいですけれども、この餅まきのお金がいくらかかっておるかを、まず聞きたいと思います。

議長

中場危機管理課長

中場幹危機管理課長

大変申し訳ございません。餅まきの費用なんですけれども、今ちょっと手元に資料ないんですけれども、餅まきの費用につきましては消防団の方々が自分たちのお金のなかから、互助会のなかから支出されておるということで、一般会計からは支出はされておられません。

なお、消防団にはそういう補助金等も出ておりますが、現在のところ私、今金額は正確に持っておられませんので、よろしければあとで至急調べてご連絡をさせていただきたいと思えます。すみません。

議長

9番 平野倅規君。

9番 平野倅規議員

この消防団のこの補助金のほうから、この餅まき代が出ておるといような可能性はないですか。もちろんそれが出ておるようやったら、この金額はいくらです。

消防団にいつておる補助金はいくらで、この餅まきにいつている費用はいくらか、それも同時に答弁していただきたいと思えます。

議長

中場危機管理課長

中場幹危機管理課長

消防団に出ております消防団の活性化補助金というのは、全部で45万円計上してございます。ただ、先ほど申しましたように、そのなかのいくらかを餅まきに使っておるのか、またほかからというのは、今のところありませんので調べさせていただきたいと思えます。

議長

9番 平野倅規君。

9番 平野倅規議員

結局、私の言いたいのはこの45万円の補助金を出しておるうちから、20万円余りの餅まき代がもしも仮に出ておるとしたら、補助金をカット、この餅まきを止めさせて、補助金を20

万円あげる金をカットせなならんと、そういうふうなことになるわけです。それまで紀伊長島町の出初式のときなかった、餅まきは。

それで一昨年からこの餅まきが消防の出初式のときにやるとなっておるということ自身が、不合理なん。これやるんかやらんのか、やらすんか、やるんであれば消防の補助金から出てるような餅代であれば、来年この予算は認めるわけにはいかんし、来年度から止めていただきたい。そういうふうなものごとになるわけです。

それで町長、それをご存じですか。そういうふうな補助金からこの餅まきの、この一昨年からやっておるということ自身が。それを改めて見直しをして、今回のこの補助金も45万円出てるのであれば、餅代引かなあかん。と僕は思います。

結局さ、餅をまくでというたら、餅を拾いに来る人がたくさん来てくれて、出初式は映えるかわらんけども、真の目的が餅まきであって、防災のことでなかったら意味がない。そういうことを私は指摘して、その見直しを図っていただきたいということを指摘しておきます。

議長

中場危機管理課長

中場幹危機管理課長

議員さんにお答えさせていただきます。先ほど私45万円のなかからというような話もちょっと出たんですけども、正式に覚えておりませんので、補助金のなかから出てるのか、消防団員が集めたのか、そのへんも精査させていただきます。そういうことがあれば、今後消防団とお話をさせていただきたいというふう考えております。よろしく願いいたします。

議長

よろしいですか、ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長

以上で質疑を終わります。

議長

次に日程第3 議案第46号 平成19年度紀北町国民健康保険事業特別会計予算を議題といたします。

質疑を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長

よろしいですか。

以上で質疑を終わります。

日程第4

議長

次に日程第4 議案第47号 平成19年度紀北町老人保健特別会計予算を議題といたします。

質疑を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長

よろしいですか。

以上で質疑を終わります。

日程第5

議長

次に日程第5 議案第48号 平成19年度紀北町簡易水道事業特別会計予算を議題といたします。

質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長

以上で質疑を終わります。

日程第6

議長

次に日程第6 議案第49号 平成19年度紀北町介護サービス事業特別会計予算を議題といたします。

質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長

以上で質疑を終わります。

日程第7

議長

次に日程第7 議案第50号 平成19年度紀北町水道事業会計予算を議題といたします。

質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長

以上で質疑を終わります。

これで、今回提案されました案件についての質疑は、すべて終了しました。

議長

お諮りします。

本日、議案といたしました日程第2から、日程第7までの6件と、合わせて日程第8から日程第44までの議案については、会議規則第39条第1項の規定により、別紙の委員会付託表のとおり、各常任委員会に付託したいと思います。

ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長

異議なしと認めます。

したがって、別紙の委員会付託表のとおり、各常任委員会に付託することに決定しました。

なお、付託案件にかかる審査につきましては、3月12日は総務財政常任委員会、3月14日は教育民生常任委員会と産業建設常任委員会の開催となっております。1日ですべての議案の審査が終了しない場合は2日間でも結構です。委員長により取り計らいをしていただくことをお願いいたします。

議長

以上で、本日の日程はすべて終了しました。

本日はこれにて散会いたします。

どうもご苦労様でございました。

(午後 2時 26分)

地方自治法第 123条第 2 項の規定により下記に署名する。

平成 19年 6月 21日

紀北町議会議長

尾 上 壽 一

紀北町議会議員

東 清 剛

紀北町議会議員

谷 節 夫
